

写真 河村正和  
映像  
出演 ペナルティワッキー  
ディレクター 棚木 和人  
カメラ、音響、照明 株式会社よしもとブロードエンタテインメント  
デザイン オガワユミエ  
制作 よしもとクリエイティブ・エージェンシー 前原 まさみ  
発行 宮城県栗原市

制作協力  
衣装協力 若柳地織  
撮影協力 もぎたてフルーツ工房 土里夢  
山菜茶屋ざらぼう  
フィールドヴィレッジファーム  
座主窯  
栗原市花山農山村交流センター ふるさと交流館  
湖畔のみせ 旬彩

2016年9月

来てみらいん！くらしたい栗原へ

栗原市移住定住サイト  
<http://www.kurihara-tju.jp>

【お問い合わせ】  
宮城県栗原市企画部企画課 成長戦略室  
〒987-2293 宮城県栗原市築館薬師一丁目7番1号  
TEL：0228-22-1125 FAX：0228-22-0313  
E-Mail：teijiyusokushin@kuriharacity.jp



栗原市 × YOSHIMOTO  
宮城県栗原市移住定住ガイドブック

# 移住者インタビュー

## Interview book

伊達藩の時代から宮城県の穀倉地帯だった栗原市では、食料としての米の生産に伴い、副産物の稲藁が暮らしの様々な場面で利用されてきました。  
藁の縄は、より合わせて編むことで「絢う」とよばれ、単純に編み込むよりも、「より」をかけることで強度が増します。  
地方の暮らしは、他人との関わりが不可欠といえます。家族や友人、地域の人々、仕事場の仲間など、一人で生きているつもりでも、実は他人との関わりがあってこそ、健康な暮らしを営んでいけるのではないかと感じます。  
暮らしの営みは、なんだか藁を「絢う」と同じような気がしますね。

